

## 【巻頭言】

# 大学で何を学ぶか

## 谷川道子

入学、おめでとう！「愛でる」とは、相手の可能性を慈しみ育てる思いで、いまの新人生の皆さんにこそ、ふさわしい言葉でしょうか。そう、二十歳±αの皆さんは、これから四年±αの時間、この緑と知にあふれた素晴らしいキャンパスで、何でも存分に学べるのです。「何を学ぶか」

などというのは、その無限の可能性に対して自分で考え、答を探っていくこと。何しろ無限。でも何でも学べる自由は、何も学ば／べない自由かもしれないし、自由という不自由もある。可能性がありすぎて決められない「選択恐怖症候群」というのもあるそうですね。せっかくなのに「自由からの逃走」？ そんなこともないでしょうが、船出のためには、まずは、行く先を決めるための自分の羅針盤、座標軸、その変数と定数を、しっかり見定めることでしょうか。

本学であればこそ学べる可能性というなら、新しい専攻語や既習言語などの言葉の修得から、それを基にしてのさまざまな世界への飛翔、外語祭に「語劇」、自分に興味のある専門分野や留学の可能性、何を学び、何時どこにどのくらい留学しようか……。もう思いを育んでいる人なら、

その船出の行き先の中味の探索を始めてみればいい。まだの人は、そのためのアンテナをいろいろに張り巡らしてみることに。尋ねる／訪ねる先は、授業を通しての先生や学友、サークルや諸々の縁りの先輩、知人、知の宝庫の図書館、劇場に映画館、さすらいの旅、たくさんあります。この小冊子も、皆さんが考える際のひとつの指針になれば、と思つてのプレゼントです。長い人生、そんなに急いでどこに行く？

でも、どこかで決めなくてはなりません。たとえばどのコースに進級し、どのゼミで何を卒論テーマにするか、留学はどうする？ 教員免許や資格取得に、就職は？ 人生は海路か基盤のようで、自分の舵や駒はどこにでも置けるけど、そこで自分の軌跡はできていく。でも、青春とは迷うもの、迷ってこそ青春！でしょうか。

教師としての私がよく言うのは、自分の興味のフォーカスは、「結んで開いて」を繰り返す中で見えてくるもの、でもいろいろサポートはしてあげられるけど「決めるのはあなたよ」、孔子も言ってるでしょう、「学びて思わざれば即ち昏し、思いて学ばざれば即ち危うし」、ホルヴァート曰く「動いてごらん、僕に君が見えるように」……。

何を学ぶかというのは、自分がどう生きていくか、どういう形で社会に向き合っていくのかを考えること。「……」ばかりですが、その無限の可能性に向かってこそ、最後にもう一度、入学、心からおめでとう！

# 新しい世界への扉——大学新入生にすすめる本

東京外国語大学 出版会&附属図書館

## 目次

巻頭言 大学で何を学ぶか 谷川道子

【アンケート】  
教員・図書館職員がえらぶ新入生にすすめる本 2

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 荒川慎太郎 | 金指久美子 | 谷川道子  | 古橋英枝  |
| 今福龍太  | 川口健一  | 千葉亜紀子 | 水野善文  |
| 岩崎務   | 河路由佳  | 千葉敏之  | 村尾誠一  |
| 岩崎稔   | 木村晴茂  | 敦賀陽一郎 | 村上遥   |
| 上田誠治  | 木村有美子 | 鶴田知佳子 | 柳原孝敦  |
| 宇戸清治  | 柴田勝二  | 沼野恭子  | 山口裕之  |
| 大澤正男  | 鈴木聡   | 博多かおる | 大和加寿子 |
| 岡田知子  | 鈴木茂   | 早津恵美子 | 吉田恵理  |
| 小川英文  | 関口時正  | 深澤秀夫  | 吉田ゆり子 |
| 加藤さつき | 立石博高  | 藤井守男  | 竹中龍太  |

## 【エッセイ】

- 歴史のすすめ 千葉敏之 22
- 異文化としての料理のすすめ 沼野恭子 24
- ラブレターのすすめ 柳原孝敦 26

こっそり先輩から新入生にすすめる本 28

古本屋がすすめる本 深谷貞臣 30

東京外国語大学読書スポット大調査 32

出版会ができた！ 岩崎稔 34

叢書名Dieria Books(ビエリアブックス)の由来 岩崎務 35

外語大図書館へようこそ 立石博高 36

東京外国語大学学術成果コレクション 37

東京外国語大学附属図書館2008年貸出ランキング 38

図書館職員の仕事と日常 39

知られざる蔵書たちの座談会 40

絵本で親しむ世界の言語 42

東京外国語大学生協購買書籍部「ハッチポッチ」へようこそ！ 44

開国一五〇年と東京外国語大学 吉田ゆり子 46